

市民みんなで手をたずさえて

広報はばたき

新発田青少年健全育成市民会議

絆 支え合うまちづくり



新発田市長 一階堂 馨

近年、都市化や核家族化の進行に伴い、地域のネットワークや、人と人のコミュニケーションが希薄になってきていると言われます。ともすれば物質的豊かさのみを追求し、自己中心的な生き方になりがち傾向にあります。

新発田青少年健全育成市民会議では、健全育成の中核を担う様々な事業を実施し、青少年の健全育成に寄与していただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、三月に発生いたしました東日本大震災で被災地の方々の支えになつて居るのは、「困った時はお互い様の精神」、「支え合い助け合いの心」という、日本古来の良き精神文化です。三月十一日以前は、冷たい響きを持つ「無縁社会」という言葉が重くのしかかっていました。が、当市におきましても、市民の皆様から義援金や支援物資の提供、積極的なボランティア活動の展開など、温かい心をたくさん届けていただき、お互いを支え合う「絆」となつて、幅広く結実してまいりました。

また、震災では多くの尊い命が犠牲にされましたが、全国では

疎外感などから自ら自ら命を絶つ方が年間三万人以上おられます。一人が「命」を絶ちますと、その周りにいる二百人ぐらいが衝撃を受けたり深く傷つくと云われております。

市民の絆を深め、支え合うまちづくりがたいへん重要と考えておりますが、去る六月定例市議会におきまして、全国で三番目、県内で初めての「新発田市民のきずなを深め『いのち』を守る条例」を、満場のご賛同を賜り、制定させていただきました。

命を大切に、青少年の健やかな成長を願う「心も体も健康なまちづくり」を更に推進させていきたいと考えておるところです。

子どもは未来の地域の宝です。「なでしこジャパン」の活躍が日本国中に大きな感動を呼び起こしましたが、今年度もスポーツをはじめ、様々な全国レベルの大会に当市の青少年の皆様が出演しております。

若い躍動する姿に接し、明日の社会を逞しく切り拓いていく人材の育成こそ、私たちに課せられた責務と考えております。今後とも、

家庭や地域、学校との結びつきにおける健全育成に携わる関係各位のご尽力にご期待申し上げますと

ごあいさつ



新発田青少年健全育成市民会議 会長 臼井 茂夫

東日本大震災から多くのことを教えられました。

未曾有の惨禍を克服するなかで、地域社会が結束し、復興に向けて心一つにすることがいかに大切であるか痛感させられました。助け合いの心や人と人とのつながりが大事であることは被災地だけでなく、どの地域にも言えることだと思います。

七月二十三日に開かれた市民大会での中学生による「私の主張」において、子どもたちが震災を通して考えたこと、学んだことを率直に述べてくれました。

「命の大切さ、生きていくことの喜びを改めて感じ、家族と一緒に暮らせること、日常での当たり前のことのなかに一番の幸せを見出した」などです。

人は一人では生きていくのではなく、多くの人に支えられて生きていくという認識を持ち、助け合うこと、人を思いやること、感謝の気持ち忘れぬこと、そして人とかかわりを大事にし、学校生活

ともに、「市民の力」、「地域の力」の結集に向けましてご支援、ご協力をお願いいたします。

や地域社会全体における人と人とのつながりを大切にしたいと強調しました。

明るく挨拶を交わしたり、進んで家事の手伝いやボランティア活動に参加したりして、友達や、家族近所の人たちと積極的にいかかわりを持つとうと結んでいます。

昨今、学校や家庭、地域での人間関係がギクシャクしてしつくりこないことが大きな社会問題になっています。ネット社会、無縁社会、孤立社会と言われる現代社会において、望ましい人間関係を樹立し、人と人との絆をどう深めるか、すなわち社会性をいかにして養うかを考える上で子どもたちから大きな示唆を与えられた気がします。

いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動に共通する要因として、子どもたちの社会性の不足が指摘されていますが、その社会性をいかに育むか、原点に立ち返って、日頃の青少年健全育成活動のあり方をもう一度問い直してみたいと思います。

青少年健全育成市民大会を開催!!

7月23日(土) 新発田市生涯学習センター

来賓として、市長代理塚野教育長様、市議会議長代理齋藤副議長様、教育委員の皆様をお迎えし、300人近い市民の方々の方々の出席のもとに開催されました。

◇功労者表彰

- ・新発田市子ども会連合会 倉島 健一様
- ・新発田市健民少年団 西澤 正子様



倉島 健一様



西澤 正子様

◇活動事例発表

東豊学区青少年育成協議会

会長 高橋 宏行様

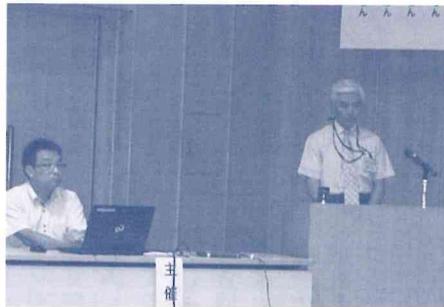
〈内容〉「東豊学区青少年育成協議会の1年」

◇わたしの主張「市内発表会」

・市内5中学校生徒が、日常生活での体験や感想を若者らしい感性をもって発表

◇記念アトラクション

しばたパフォーミングキッズ



活動事例発表



記念アトラクション

中学生 わたしの主張 (要旨) ~市内5中学校~

明日へ

第一中学校三年 小林 史緒

一年前に祖父を亡くして以来、立ち止まっていた私。その祖父の言葉から、あきらめず、逃げ出さずに前進し、失ったもの以上の思い出を手に入れようとする勇氣、決意をもちました。

自分の命を大切にしよう

東中学校三年 肥田野 礼佳

今の世の中には自殺をする人がたくさんいる。そこで、悩み苦しんでいる人の心をケアする場を作ることを考えた。この考えには問題点もあるが様々な方法で解決し命の重さを伝える。

生きていてこそ、何事もできる

七葉中学校三年 松田 亜香理

息子さんを集団暴行によって亡くしたお母さんの話を聞き、母の子供に対する思いについて考えた。生きていてこそ何事もできる。私は、生きていることに感謝し、命を一生大切にします。

東日本大震災を通して感じたこと

豊浦中学校三年 鹿嶋 紫織

この東日本大震災では、多くの被害を残したが、その中で私は「人とのつながり」を強く感じることが出来た。このつながりは切ることの出来ないものだから、大切にしていきたい。

あたり前の幸せ

加治川中学校三年 高橋 香穂

私たちにとって、あたり前の幸せとは何か。家族と共に過ごす毎日。明日が来ること。それがかけがえのない幸せだということに気づけたということ。とても大きな進歩だということ。



「わたしの主張」県大会出場

9月24日(土) 長岡リリックホール

去る、八月二十四日、三市北蒲原地区大会において最優秀賞を受賞された猿橋中学校三年宮村直樹さんが、県大会に出場し、「奨励賞」を受賞されました。



猿橋中学校
三年 宮村 直樹

「祖父の口ぐせ」

僕には、東京に住んでいる祖父がいます。祖父は、長期休みや、僕の家族の誕生日になると決まって新発田に遊びに来ます。話好きで家族思いの祖父が僕は大好きです。毎年、祖父が来る日とても楽しみにしています。

祖父は今まで僕にたくさんの話をしてくれましたが、会う度に、くり返しくり返し口ぐせのように語る話があります。

「直君、聞くという字と聴くという字があるだろう。最初の字には耳という字しか入っていないけれど、二番目の聴くという字には、耳も目も心という字も入っているんだ。聞くとは聴くを比べて、どっちが話をきく時に合っていると思う？」

「聴くの方が合っていると思う。」
「その通り。話は、相手の目を見て耳で聞いて心で聴くものだ。」

ぞ。」

それ以来、僕は人の話を意識して聴くようになりました。

最近学校で講演を聴く機会がありました。その中には、祖父の話と似たような興味深い話がありました。

「最近の若者は、おはよう、こんにちはのあいさつができない。言いたいことがまとまらないから「ビミョー」と言ってしまう。そもそも言いたいことがないから「べつ」と言ってしまう。相手の言っていることが理解できないから「ウザイ」と言ってしまう。これらのことは若者たちの「聴く力」が弱くなってしまうからではないか」

講演を聴いて、僕は納得するしかありませんでした。そして祖父の言いたいことはこういうことだったのだと理解することができました。

――〈中略〉――
僕は毎朝、猿橋中学校の生活委員長として校門に立って「あいさつ運動」を行っています。

「あいさつ運動をしていると、当然のようにあいさつを返してくれる人とあいさつを返してくれない人がいます。そこで気づいたことがあります。「あいさつを返すこと」と「聴く」ということはどちらも相手を受け入れることと同じだということです。それに気づいて以来、それまではただなんとなくあいさつをしているだけだったのですが、今は学校に来るみんなが朝から元気に、いいスタートができるように心がけてあいさつをしています。僕は、普段から人の話をしっかりと聴いていれば、自然とあいさつができるようになると思っています。あいさつをする人と話を聴くことはつながっています。あいさつは基本。そう考えたら、人の話を聴くことも基本ということにならないでしょうか。」

「これからもたくさんの人の話を聴いて、互いに受け入れみんなとつながっていきたくないと考えています。」

平成23年度 各育成協議会等の活動

13地区の育成協議会等が、それぞれの地域特性を生かして特色のある活動をすすめています。

- 外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会
 - ・あいさつ運動、愛の一声運動、パトロール作戦
 - ・各ブロック(本町、中央町、緑町、大手町、城北町、新富町)ごとの活動、教育懇談会、クリスマスお楽しみ会など
- 御免町小・一中校区育成会議
 - ・あいさつ運動(老人クラブとの連携)
 - ・あかるい地域づくり運動(三世交代の活動)
 - ・青少年健全育成会議と子ども会との協力活動
- 猿橋小学校区青少年健全育成協議会
 - ・地域子供会との懇談会
 - ・健康ウォークぶどう狩り
 - ・オータムフェスティバル
 - ・広報紙の発行
- 二葉地区青少年育成協議会
 - ・おやじの会の後援(PTAキャンプ)
 - ・講演会
 - ・下校時街頭パトロール
 - ・親子ふれあい活動
 - ・広報の発行
- 住吉小学校区青少年育成協議会
 - ・研修講演会
 - ・あいさつ運動
 - ・交通安全、通学指導
 - ・一年生おめでとう大会
- 東豊学区青少年健全育成協議会
 - ・あいさつ運動の実施
 - ・炊き出し講習会&地域お楽しみ交流会
 - ・健全育成三世地域交流事業
 - ・会報「すこやか」の発行
- 東中学校区すこやかな子どもを育てる会
 - ・愛の一声運動
 - ・講演会の開催
 - ・広報の発行
- 川東地区自治連合会育成部
 - ・あいさつ運動の実施
 - ・生徒指導懇談会の開催
 - ・小、中連絡会
 - ・「休みを楽しく有意義に」の発行
- 七葉中学校区すこやか育成会
 - ・講演会の開催
 - ・小中学生交流活動
 - ・地域美化活動
 - ・防犯パトロールの実施
 - ・さわやか佐々木つ子育成会
 - ・佐々木盆踊り
 - ・親子ふれあい事業
 - ・親子レクリエーション
 - ・講演会の開催
- 豊浦地区青少年健全育成協議会
 - ・講演会の開催
 - ・地域交流活動
 - ・6年生の1日体験入学
 - ・広報「こよら」の発行
- 紫雲寺地区青少年健全育成協議会
 - ・れんぎょうパトロール隊による防犯パトロールの実施
 - ・「わが家、わが地域の元氣つ子」写真コンクール
 - ・第19回教育振興大会
 - ・広報「おもいやり」の発行
 - ・講演会の実施
 - ・地域との関わりを深める支援活動
 - ・パトロール活動等の推進
 - ・広報紙「はぐくみ」の発行

少年団体の活動

絆

少年団体活動をもとに、子どもたちと大人とのかかわりや、仲間意識の輪が広がります。

子ども会連合会

金魚台輪作りで途中で教えてもらって時間内にできた。友達もできて、いっぱい遊んでとても楽しかったです。

小五 佐藤 大輔

友達もいっぱい作れました。初めて会った子でも、いっぱい遊びながら、仲良しになり、友達が作れました。

小五 阿部 涼香

たくさんの方ができて、とても楽しい経験をしました。また交流会があったら参加したいです。

小六 高口 真奈

加賀市の友達と三日間、仲よく過ごせて楽しかったです。またこんど加賀市の友達とお泊りしたいです。

小六 波多野 鈴



金魚台輪を作ったよ



初めて魚をつかまえたよ

健民少年団

村上団の友達もたくさんできました。とても楽しいキャンプでした。

小四 佐野 瑠保

私はこの体験(班活動)を通して、友達と協力しあう大切さを知りました。

小六 渡部 結衣

屋外炊飯でみんなで協力して火を大きくすることができて、うれしかったです。

中二 佐久間 海

キャンプはいろいろな人と交流でき、色々な体験ができてとてもいい。

中二 林 宙輝

スポーツ少年団

加治川FCに入団し、サッカーを通して多くの仲間とめぐり合うことができました。

小六 大久保 柊二

キャプテンとしてチームを率い、チームメイトの絆がいつそう深まったと思います。

小六 渡辺 宝

バレーボールは、みんなで声を出して拾い打つことでチームが一つになるスポーツです。

小六 額 光

全員野球が僕達のスローガンです。全員で団結し、強いチームを目指します。

小六 黒井 敬太



スポーツ少年団合同結団式



体力測定



(県交歓大会で)

初めて会った友だちと野外炊飯。



(県交歓大会のOL(オリエンテーリング)で)

チェックポイントの問題(クイズ)考え中。

ボーイスカウト新発田第1団

ぼくが、ボーイスカウトをやった良かった事は友達と楽しい活動ができることです。

小五 内田 智久

ボーイスカウトの活動は、普段関わる事のない人達と活動出来る場所です。

小六 藤井しずか

困っている人に手を差し伸べる。助け合う事から、絆は生まれる。「スカウト精神」 中二 小柴 悠生

学校以上の幅広い年齢層での様々な人間との結びつき 小六 高橋 且

新発田地区緑の少年団育成会

わたしは、他の地域の緑の少年団と友達になれたことがうれしかったです。

小五 斎藤 一乃

私は、カヌーキャンプで初めてカヌーに乗って楽しかったです。

小五 神田 初音

わたしは、たくさん友達ができ、楽しかったです。

小五 湯浅 翠

初めて会った人と友達になり、協力したりして友達の輪が広がりました。

小六 有本 らな



5月14日に行った「福島潟自然体験」ハンカチ染め



健民少年団と合同の「乙カヌーキャンプ」



うどん作りに挑戦！おいしくできたよ



夜たくさんおしゃべりできて楽しかったよ

～23年度の主な活動と予算等～

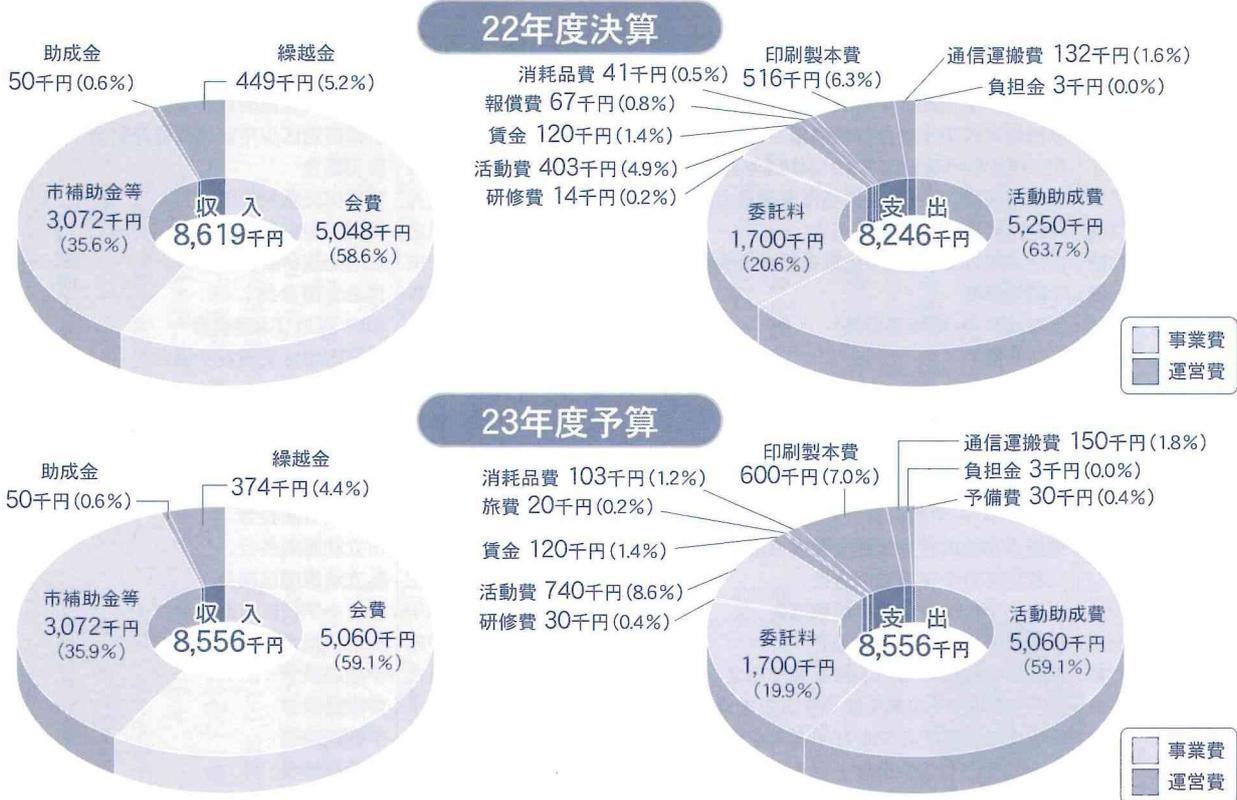
各世帯からいただいた会費をもとに、次のような活動と助成を行っています。

◇市民会議の主な活動

- ・市民大会(7/23)
- ・わくわく合宿(10/15～16)
- ・市民一斉パトロール(11/3)
- ・青少年はぐくみ環境懇談会(11/25)
- ・青少年健全育成講演会(1/21)
- ・広報「はばたき」の発行(年2回)

◇地区青少年健全育成組織・青少年育成団体等への助成

- ・クリーン作戦の実施(地域の清掃奉仕活動)
- ・健康ウォーク、野外レクリエーション、親子キャンプ等
- ・「あいさつ運動」の推進
- ※その他、各組織や団体で特色ある育成活動を展開しています。



平成23年度の活動助成費は次の団体に助成しました。

13地区青少年健全育成組織

| 組織名 | 助成金額(円) |
|--------------------|---------|
| 外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会 | 308,000 |
| 御免町小・一中校区青少年健全育成会議 | 312,000 |
| 猿橋小学校区青少年健全育成協議会 | 377,000 |
| 二葉地区青少年育成協議会 | 239,000 |
| 住吉小学校区青少年育成協議会 | 268,000 |
| 東豊学区青少年育成協議会 | 328,000 |
| 東中学校区すこやかな子どもを育てる会 | 348,000 |
| 川東地区自治連合会育成部 | 167,000 |
| 七葉中学校区すこやか育成会 | 238,000 |
| さわやか佐々木っ子育成会 | 133,000 |

| | |
|-----------------|---------|
| 豊浦地区青少年健全育成協議会 | 301,000 |
| 紫雲寺地区青少年健全育成協議会 | 263,000 |
| 加治川地区青少年健全育成協議会 | 249,000 |

青少年育成団体等

| 組織名 | 助成金額(円) |
|---------------|---------|
| 市子ども会連合会 | 918,000 |
| 市健民少年団 | 202,200 |
| 市スポーツ少年団 | 218,800 |
| ボーイスカウト新発田第1団 | 145,000 |
| 市少年補導委員会 | 45,000 |

青少年健全育成「市民一斉パトロール」のお知らせ

明日を担う青少年の健全育成のために、大勢の皆様のご協力をお願いします。

と き 11月3日(木・祝日) 午前9時30分～正午

- ・出発式 9時30分～10時 新発田駅前公園(雨天決行)
- ・パトロール等 10時30分～正午(中学校区毎)

パトロール等は、中学校区の活動となります。(別の日に行う地区もあります。)～詳しくは、市民会議事務局またはお住まいの育成協議会へ～



よろしくお願ひします

新発田青少年健全育成市民会議 役員名簿

任期/平成22年6月1日～平成24年5月31日

| 役職 | 氏名 | 選出区分等(専門委員会等役職) | 役職 | 氏名 | 選出区分等(専門委員会等役職) |
|------|--------|-------------------------------|----|-------|-----------------|
| 会長 | 白井 茂夫 | | 理事 | 中島 智子 | 七葉中学校区すこやか育成会 |
| 副会長 | 田村 光雄 | | " | 五十嵐良一 | さわやか佐々木っ子育成会 |
| " | 高橋 大作 | | " | 後藤 政実 | さわやか佐々木っ子育成会 |
| " | 鈴木 光子 | | " | 渡邊 信明 | 豊浦地区青少年健全育成協議会 |
| " | 大川原さとみ | | " | 新井田 明 | 紫雲寺地区青少年健全育成協議会 |
| 常任理事 | 大森 睦夫 | スポーツ少年団(少年団体活動推進委員会委員長) | " | 須藤熊太郎 | 加治川地区青少年健全育成協議会 |
| " | 熊倉三喜男 | ボーイスカウト新発田第1団 | " | 五十嵐康行 | 加治川地区青少年健全育成協議会 |
| " | 中村 直子 | 外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会 | " | 猿子 洋司 | 民生委員児童委員連合会 |
| " | 皆川 美枝 | 豊浦地区青少年健全育成協議会 | " | 小池 完治 | 新発田地区少年補導員等連絡会 |
| " | 比企 広正 | 紫雲寺地区青少年健全育成協議会(地域活動推進委員会委員長) | " | 宮村 嘉吉 | 防犯組合 |
| " | 丸山 正幸 | 少年補導委員会(社会環境推進委員会委員長) | " | 内山 正人 | 新発田児童相談所 |
| " | 川上 克義 | 新発田阿賀北地区保護司会 | " | 高橋 信之 | 新発田警察署 |
| " | 富樫 政晴 | 自治会連合会(組織強化推進委員会委員長) | " | 齋藤 光夫 | 自治会連合会 |
| " | 若月 学 | 学識経験者 | " | 相馬 義雄 | 自治会連合会 |
| " | 佐藤 靖雄 | 学識経験者(編集委員長) | " | 櫻井 喜文 | 小中学校PTA連合会 |
| " | 関川 直 | 学識経験者 | " | 湯浅 喜六 | 新発田地区交通安全協会 |
| " | 大滝 昇 | 学識経験者 | " | 目黒 隆 | 小学校長会 |
| 理事 | 阿部 信 | 子ども会連合会 | " | 高橋 勝吾 | 中学校長会 |
| " | 青山 武夫 | 健民少年団 | " | 中村 健郎 | 高等学校長会 |
| " | 宮崎 光衛 | 新発田地区緑の少年団育成会 | " | 澁谷 文子 | 市立保育園長会 |
| " | 浮島 一雄 | 御免町小・一中校区青少年健全育成協議会 | " | 伊藤 純子 | 私立保育園長会 |
| " | 松川 康男 | 猿橋小学校区青少年健全育成協議会 | " | 田中ひとみ | 市立幼稚園長会 |
| " | 伊藤 正仁 | 二葉地区青少年育成協議会 | " | 斎藤 孝正 | 私立幼稚園協議会 |
| " | 田宮順一郎 | 住吉小学校区青少年育成協議会 | " | 近 弘子 | 住吉小学校区母親クラブ |
| " | 高橋 宏行 | 東豊学区青少年育成協議会 | " | 美遠まゆみ | 加治川地域子育てクラブ |
| " | 小池 裕 | 本丸中学校区明るい子供を育てる会 | " | 石井 辰吉 | 学識経験者 |
| " | 木川 正直 | 第一中学校区「未来を築く子どもを育てる会」 | " | 渡辺 富子 | 学識経験者 |
| " | 曾我 秀洋 | 猿橋中学校区すこやかな子どもを育てる会 | " | 金田 緑 | 学識経験者 |
| " | 下妻 兵榮 | 東中学校区すこやかな子どもを育てる会 | " | 木戸 秀子 | 学識経験者 |
| " | 富樫 篤 | 東中学校区すこやかな子どもを育てる会 | 監事 | 榎坂 宣弘 | |
| " | 菅 正知 | 川東地区自治連合会育成部 | " | 南雲 悦子 | |
| " | 近藤 佳司 | 川東地区自治連合会育成部 | | | |
| " | 金子 俊文 | 七葉中学校区すこやか育成会 | | | |

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三六号
電話 (〇二五四)二六一〇八九七

編集委員
佐藤 靖雄 関川 直
猿子 洋司 渡辺 富子
金子 緑

あとがき

今年度の「はばたき」第一号の巻頭言は、市長さんからいただきました。ありがとうございます。

「絆」、あの日以来、あらゆる場での言葉がキーワードになっています。極限とも言うべき状況の中でも尚、温かい心で、たくましく活動する中学生や高校生の様子を見聞きするたびに、人と人とを結ぶ「絆」の大切さと、力強さに感動せずにはいられません。

振り返って平時、孤食や孤立している子どもたちが増え、人と人、人と地域の繋がりが稀薄になりつつあります。市が「絆」を深めいのちを守る条例」を制定し、積極的に取り組むことになった理由の一つも、この「絆」の希薄化が背景にあるように思います。

今号に寄せていただいた貴重な視点や実践の中から、「絆」再生のためのヒントを読み取っていただくことを強く願っています。

(佐藤 靖雄)